

後援会規約(抜粋)

第1条(名称・所在地)

本会は、遠藤ゆうや後援会と称し、主たる事務所を柴田郡大河原町におく。

第2条(目的)

本会は、遠藤ゆうや氏を後援することにより大河原町の発展と町民生活の向上を図り、あわせて会員相互の親睦を深めることを目的とする。

第3条(事業)

本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

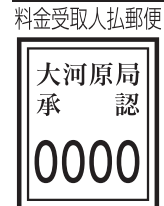
- 講演会、座談会、勉強会等の開催
- 会報等の発刊及び配布
- 関係諸団体との連携
- その他本会の目的達成のため必要な事業

第4条(会員)

本会は、第2条の目的に賛同し、入会申込書を提出した者をもって会員とする。

郵便はがき

料金受取人払郵便



差出有効期間
令和●年
●月●日まで
(切手不要)

9 8 9 - 1 2 1 6

大河原町字幸町五―五
遠藤ゆうや
後援会 行

ごあいさつ

皆さま、こんにちは。

日頃より温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

私は「行動力」と「寄り添う姿勢」を大切にし、地域の皆さま一人ひとりにしっかりと向き合いながら、住みやすく安心できる大河原町を築くため、日々全力で取り組んでおります。

出産支援金の拡充や保育料の女性を通じ、子育て世帯の経済的負担を軽減し、未来を担う子どもたちを地域で支える環境を整えます。また、地元企業支援や雇用創出により、働く世代を応援し、活気ある地域経済の実現を目指しています。さらに、公園整備やコミュニティバス導入など、寄り添う支援で世代を超えたつながりを大切にし、誰もが笑顔で暮らせる地域づくりに邁進してまいります。

さらに、新たな時代にふさわしい地域社会を目指し、行政手続きのデジタル化やICT教育の推進、デジタル防災システムの導入を進めていきます。利便性を高め、地域全体の防災力を強化することで、暮らしやすく進化する大河原町を実現してまいります。

「安全で安心できるまちづくり」と「未来を見据えた地域の進化」を皆さまと共に進め、子どもから高齢者まで、誰もが笑顔で暮らせるまちを築くため、全力で取り組むことをお約束いたします。

どうか、引き続きのご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

PROFILE

生年月日：1982年（昭和57年）7月5日生まれ

学歴：大河原町立大河原中学校
宮城県白石高等学校
花壇自動車大学校

経歴：株式会社日産サティオ宮城
宮城スバル自動車株式会社
いすゞ自動車東北株式会社

活動：大河原消防団（第5分団12班）

家族：妻・長男・次男

42歳

えん どう

遠藤 ゆうや 後援会事務所

事務所 〒989-1216 大河原町字幸町5―5

連絡先 TEL・FAX 0224-86-4160

討議資料

遠藤ゆうや

行動力で築く、
寄り添う町づくり

1 行動力で築く未来

出産から育児まで、家族を支える安心のまちへ

出産から育児まで、切れ目のない支援を実現します。出産一時金の増額で、出産費用の負担を軽減し、保育料の助成を拡充することで、子育て家庭が安心して暮らせる環境を整えます。未来を担う子どもたちと家族の笑顔を守ります。

地域経済を元気にするための地元企業支援と雇用創出

地元企業への助成金や、地域特産品のブランド化を推進。さらに、若者が地元で働き続けられるよう、新たな雇用創出や起業支援プログラムを実施します。

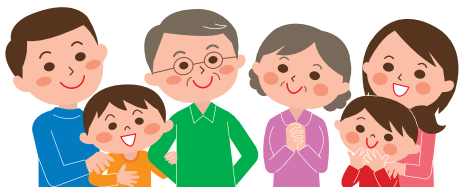
2 寄り添う支援

安全で楽しい公園の整備を推進

老朽化した遊具の改修と新設を進め、子どもたちが安心して遊べる公園を整備します。また、親子で楽しめるエリアや高齢者向けの健康器具の設置も視野に入れた多世代交流型の公園づくりを目指します。

高齢者や障がい者のためのコミュニティバス導入

地域内の主要施設を結ぶコミュニティバスを導入し、移動が困難な方々の生活を支えます。また、地域住民の声を反映した柔軟なルート設計を行い、誰もが利用しやすい仕組みを作ります。



政治家を志したきっかけ

私が政治家を志したきっかけは、地元・大河原町で起きたある出来事です。社会科の授業で議会の傍聴に来ていた小学生たちが、議会中にスマホでゲームをしている議員を目撃し、その後、辞職勧告決議案が可決されました。この出来事は全国ニュースにも取り上げられ、大河原町が悪い意味で注目されてしまいました。

「このままではいけない。私がやらなければ、誰がやるのか。」
未来を担う子どもたちに、誇りを持てる地域を残したい—その強い思いが、私の原動力です。

3 安全で安心できるまちづくり

通学路の危険箇所改善と交通安全対策の徹底

通学路における危険箇所を重点的に調査し、歩道の整備や信号機の増設を推進します。また、地域全体で子どもの見守り活動を強化し、通学中の安全を確保します。

災害に強い地域づくりのための避難所改善と防災訓練の充実

避難所の環境を快適に整備し、非常時にも安心して過ごせる施設を目指します。さらに、住民全体の防災意識を高めるため、地域ごとに防災訓練を実施し、災害時の迅速な対応力を養います。

4 デジタル化で進化する地域社会

行政手続きのデジタル化と住民サービス向上

役所窓口の手続きや申請をデジタル化し、オンラインでも簡単に利用できる仕組みを整えます。特に、高齢者やデジタルに不慣れな方にも対応できるサポート体制を充実させ、誰もが安心して行政サービスを利用できる環境をつくります。

教育分野におけるICT活用の推進

学校教育にICT(情報通信技術)を活用し、学習支援ツールやオンライン授業の普及を進めます。家庭と学校をつなぐデジタル連絡システムも整備し、保護者が安心して子どもをサポートできる環境を提供します。

デジタル技術を活用した地域防災力強化

災害時の情報発信や避難誘導を迅速化するため、デジタル防災システムを導入します。スマートフォンアプリや地域の掲示板を活用し、住民にリアルタイムで正確な情報を届けることで、安心・安全な地域づくりを進めます。



どなたでも入会できますので
皆様のご入会を
お待ちしております

遠藤ゆうや 後援会入会申込書

ご紹介者(入会者) 令和 年 月 日

フリガナ		お電話番号
お名前	様	() —
ご住所	〒989—	

ご家族・ご友人をご紹介下さい

フリガナ		お電話番号
お名前	様	() —
ご住所	〒989—	

フリガナ		お電話番号
お名前	様	() —
ご住所	〒989—	

フリガナ		お電話番号
お名前	様	() —
ご住所	〒989—	

フリガナ		お電話番号
お名前	様	() —
ご住所	〒989—	

※個人情報のは後援会活動以外には使用致しませんので、ご了承ください。